

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

硬膜外鎮痛を実施した経膣分娩症例における産後疼痛強度の影響因子についての後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年1月1日から2027年3月31日に昭和大学病院で、硬膜外鎮痛を実施して経膣分娩を行った患者さん

2. 研究目的・方法

硬膜外鎮痛を実施して経膣分娩を行った症例において、産後疼痛強度に影響する因子を明らかにする。

研究対象期間内に当院で区域鎮痛を使用し経膣分娩を行った症例を対象とし、患者診療録より調査項目として下記を抽出します。

患者背景(年齢、身長、非妊娠時/分娩時体重、経産歴)、分娩に関する情報(分娩週数、分娩時間、分娩所要時間[第1期、第2期]、出血量)、分娩様式(器械分娩の有無とその種類、会陰切開の有無、会陰裂傷の程度、膣壁裂傷・頸管裂傷の有無)、新生児に関する情報(推定体重、出生体重)、分娩後の疼痛強度(NRS)、使用した鎮痛薬とその頻度。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年6月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録：患者背景(年齢、身長、非妊娠時/分娩時体重、経産歴)、分娩に関する情報(分娩週数、分娩時間、分娩所要時間[第1期、第2期]、出血量)、分娩様式(器械分娩の有無とその種類、会陰切開の有無、会陰裂傷の程度、膣壁裂傷・頸管裂傷の有無)、新生児に関する情報(推定体重、出生体重)、分娩後の疼痛強度(NRS)、使用した鎮痛薬とその頻度

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和大学病院	氏名	細川幸希
研究分担者	研究機関名	昭和大学病院	氏名	加藤里絵
	研究機関名	昭和大学病院	氏名	五反田倫子

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 麻酔科 氏名：細川幸希

住所： 〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000（内線 3187）